

確認用

大学院用

区分D

修了

記入例

公認心理師試験

修了証明書・科目履修証明書

[公認心理師法施行規則附則第2条に規定する科目]

フリガナ	オオサカ	タロウ	生年月日
氏名	(姓) 大阪	(名) 太郎	
大学院名	大阪大学大学院		
研究科・専攻	人間科学研究科 博士前期課程 △△△専攻		(西暦)
入学年月	(西暦) xxxx年 xx月	修了年月	(西暦) xxxx年 xx月
			XXXX年XX月XX日 生

大学院における必要な科目		履修	対応する開講科目
I	1 保健医療分野に関する理論と支援の展開	<input checked="" type="checkbox"/>	○○○○特講
	2 福祉分野に関する理論と支援の展開	<input checked="" type="checkbox"/>	△△△△特講
	3 教育分野に関する理論と支援の展開	<input type="checkbox"/>	
	4 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	<input checked="" type="checkbox"/>	XXXX演習
	5 産業・労働分野に関する理論と支援の展開	<input type="checkbox"/>	
	上記Iの5科目のうち、履修した科目数		3 科目
大学院における必要な科目		履修	対応する開講科目
II	6 心理的アセスメントに関する理論と実践	<input checked="" type="checkbox"/>	◇◇◇◇演習 ●●●●特講
	7 心理支援に関する理論と実践	<input checked="" type="checkbox"/>	□□□□特講
	8 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	<input checked="" type="checkbox"/>	◎◎◎◎特講 ▼▼▼▼論
	9 心の健康教育に関する理論と実践	<input type="checkbox"/>	
	上記IIの4科目のうち、履修した科目数		3 科目
大学院における必要な科目		履修	対応する開講科目
III	10 心理実践実習	<input checked="" type="checkbox"/>	◎◎◎◎実習
	上記IIIの10の履修		1 科目

- (注) 1 一つの必要な科目に対応しているとした開講科目を、他の必要な科目に対応する科目として記入することはできません。(「履修」欄は、履修した科目の□に✓点でチェックしてください。また履修していない科目の□を取り消し線で消してください。)
- 2 本様式は、受験申込者が「修了証明書・科目履修証明書」の発行請求にあたり受験申込者に取得科目を確認してもらうための書類です。証明書発行請求時に、必要書類と併せて提出してください。
- 3 本様式の記入にあたって、手書きの場合は必ずボールペン又は万年筆を使用してください(消せるボールペンは使用不可)。
- 4 左欄「大学院における必要な科目」に対応する科目として、本学在学時に取得した科目を右欄「対応する科目」を記入してください。該当する科目が複数ある場合は、全ての科目を記入してください。